



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社海帆  
代表者名 代表取締役 吉川 元宏  
(コード番号:3133 東証グロース)  
問合せ先 執行役員管理本部長 水谷 準一  
(TEL. 052-586-2666)

## 個別業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. 2022年3月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純損益
前期実績（A） 2022年3月期	百万円 776	百万円 △703	百万円 △348	百万円 △453	円 銭 △30.18
当期実績（B） 2023年3月期	1,731	△543	△584	△1,051	△27.76
増減額（B－A）	955	160	△236	△598	
増減率（%）	222.98%	—	—	—	

### 2. 差異が生じた理由

当社個別の売上高に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限の緩和から前期に比べ通常通りの営業ができたことに加え、国内及びインバウンド需要に回復の兆しがみられることから、店舗数は若干減少したものの前期実績を上回る結果となりました。

営業利益に関しましては、売上高は順調に回復傾向にあるものの、ウクライナ情勢の長期化により資材・原材料価格の高騰の影響をうけ、売上原価や光熱費が増加しております。また、今後の新たな収益基盤を築くために、内部体制の整備や新たな事業の検討等を行ったことで管理コストが前

期と比較して増加しておりますが、前期実績を上回る結果となっております。

経常利益に関しましては、前期は政府及び自治体からの要請に対応した、営業自粛による助成金の計上等があったため、その影響額が前期実績から下回る要因となっております。

当期純利益に関しましては、店舗の撤退や業態変更に係る固定資産除却損の計上は増加、減損損失および既存店舗における退店時の原状回復費用などの見込み額である事業整理損失引当金繰入額の計上が増加したことにより、当期純利益は前期を下回る結果となっております。

以 上